

第3回 大楽毛地区義務教育学校開校準備協議会 議事要旨

■会議名

「大楽毛地区義務教育学校開校準備協議会」第3回会議

■開催日時及び場所

2023(令和5)年10月25日(水)午後6時30分

大楽毛中学校 1階学習室

■議題

- (1)校名の選考について
- (2)校歌について
- (3)校章について

■結果

- (1)「釧路市立大楽毛義務教育学校」「釧路市立大楽毛学園」「釧路市立おたのしけ学園」「釧路市立大楽毛小中学校」「釧路市立おたのしけ義務教育学校」の5つの校名から2次審査を行い、校名を「釧路市立大楽毛学園」に決定した。
- (2)大楽毛小学校の校歌を引き継ぐことで決定した。
- (3)大楽毛小学校と大楽毛中学校の校章のデザインを組み合わせた校章案を作成し、再度検討することとした。

■発言要旨

- (1)校名の選考について

委員:まず始めに前回の協議会に欠席した委員より校名選考について意見をいただいた上で、審議を進めて参りたい。

委員:「釧路市立大楽毛義務教育学校」を校名候補として選考する。理由は公募件数及び委員投票数が多かった「釧路市立大楽毛義務教育学校」と「釧路市立大楽毛学園」に校名を絞り、更に学校の名称を考えたときに「学園」よりも「義務教育学校」の方が学校種がわかりやすいからである。釧路市内では「阿寒湖義務教育義務教育学校」が校名として既にあるので今後、釧路市内で義務教育学校を設置していったときに「義務教育学校」を学校の名称として統一していった方が混乱を招かないのではないかと思う。

委員:「釧路市立大楽毛小中学校」を校名候補として選考する。理由は「大楽毛」はずっと慣れ親しんでいる地名であることと、学校の名称としては「小中学校」も小学校と中学校が一緒になるという点でわかりやすい。

- 委員：「釧路市立大楽毛義務教育学校」を校名候補として選考する。理由は地域の方と関わる中で「大楽毛」の地名の大事さを凄く感じているため「大楽毛」を残し、更に学校の名称を考えたときに「小中学校」は義務教育学校以外の学校にも使われているので「義務教育学校」と「学園」に絞り「釧路市立阿寒湖義務教育学校」に準じて「釧路市立大楽毛義務教育学校」を選考した。
- 委員：前回の協議会に欠席した委員より意見を伺ったので、これより校名選考の審議を行いたい。前回の協議会により校名を「釧路市立大楽毛義務教育学校」「釧路市立大楽毛学園」「釧路市立おたのしけ学園」「釧路市立大楽毛小中学校」「釧路市立おたのしけ義務教育学校」の5つに絞って再度委員投票を行ったところ
- 「釧路市立大楽毛学園」7票
「釧路市立大楽毛義務教育学校」6票
「釧路市立大楽毛小中学校」3票
「釧路市立おたのしけ学園」1票
「釧路市立おたのしけ義務教育学校」0票
- という結果となった。委員投票では学校の名称は「学園」「義務教育学校」「小中学校」に分かれており「大楽毛」の表記は、ほとんどの委員が漢字表記を選んでいいる。以上の結果も踏まえて各委員の意見を伺いたい。
- 委員：前回の協議会でも申したが「義務教育学校」は校名が長くなる。校名が長いという意見は安易に聞こえるかもしれないが、小学生にとっては「義務教育学校」と書くのは難しく、中学生にとっても校名が短いと書くときに楽になる。先生方、保護者の方も校名を書く機会が多いことを考えると「学園」もしくは「小中学校」のどちらかにした方が良い。
- 委員：平仮名表記の方が大楽毛の語源であるアイヌ語「オタ・ノシケ」に近いと感じるので「釧路市立おたのしけ学園」を校名候補として選考した。「大楽毛」の漢字は初めて見る人にとっては読めない漢字だと思い、そこが面白い点だが、複雑な点だと感じている。
- 委員：私は「釧路市立大楽毛小中学校」を校名候補として選考した。理由は「学園」と学校種を判別しにくい「小中学校」とイメージが沸きやすい。
- 委員：「小中学校」は小中併置校のイメージがある。
- 委員：「小中学校」は小規模な小中併置校の印象があるので、そういった印象を受ける方も多いのではないのか。
- 委員：小中併置校と差別化するのであれば「義務教育学校」もしくは「学園」の方が良い。
- 委員：義務教育学校の校名として全国的に「義務教育学校」「学園」「小中学校」のどれが1番多いのか。

- 事務局：全国的には「学園」と付く校名が1番多い。平成28年度に新しい学校種として義務教育学校が新設されたが、それ以前の小中一貫特区の取組による小中一貫教育の推進が徐々に広がって発展していった経緯がある。小中一貫特区のときは「小中学校」と付く学校が多かったが、現在では「〇〇小中学校」が正式な校名ではあるが、通称として「〇〇学園」の名前を対外的に使用している学校もある。また、義務教育学校化を機に「〇〇小中学校」の校名を「〇〇学園」に変更した学校も多くあり、最近では校名としては「〇〇小中学校」よりも「〇〇学園」「〇〇義務教育学校」と付く学校の方が多いと思う。
- 委員：義務教育学校は小学校と中学校が併設しているのではなく、9年間の教育課程を編成・実施する学校なので「小中学校」は合わないのではないかと感じる。現行の小学校・中学校と義務教育学校の違いを考えると「学園」もしくは「義務教育学校」の方が合っていると思う。
- 委員：あくまで参考としてお聞きしたいのだが、現場の先生方は義務教育学校の校名について「学園」と「義務教育学校」のどちらが良いと考えてるか。
- 委員：学校内の先生方は「釧路市立阿寒湖義務教育学校」のイメージが強く「義務教」と略すことも多いので「〇〇義務教育学校」になるのではないかと考えていると思う。
- 委員：「釧路市立阿寒湖義務教育学校」のイメージは強いとは思いますが、釧路市内では音別地区も義務教育学校の校名を検討しており、今後も義務教育学校が新設されていくこととなる。
- 委員：大楽毛地区と同じ時期に音別地区も校名を検討していると思うが、音別地区も大楽毛地区も「〇〇義務教育学校」の校名になると釧路市内の義務教育学校の校名はそのまま「〇〇義務教育学校」に統一されていくことになるのではないか。
- 委員：「学園」という名称は義務教育学校以外にも使われることが多い。音別地区でも「おんべつ学園」という名称が既に使用されている。
- 委員：義務教育学校の「白糠町立白糠学園」は養護学校が閉園したため、校名に「白糠学園」を使用している。
- 事務局：阿寒湖地区も公募では「マリモ(まりも)学園」の応募件数が1番多かったが「釧路まりも学園」が既に名称として使用されていたこともあり「釧路市立阿寒湖義務教育学校」となった。
- 委員：釧路市内の義務教育学校に「釧路市立阿寒湖義務教育学校」があるからといって「学園」を校名に付けていけないという理由にはならない。

- 委員：平仮名の「おたのしけ」も含めて公募件数及び、委員投票を見ると「釧路市立大楽毛義務教育学校」より「釧路市立大楽毛(おたのしけ)学園」の方が多い。また、公募件数では「釧路市立大楽毛小中学園」も6件と多いので、学校の名称は「義務教育学校」より「学園」の方が支持されている。
- 委員：平仮名の「おたのしけ」も含めると「釧路市立大楽毛(おたのしけ)学園」の校名が公募件数でも委員投票数でも最多であり、更に漢字の「大楽毛」の方が公募件数、委員投票数ともに多いので「大楽毛」を漢字表記にした「釧路市立大楽毛学園」を校名に決定してはどうか。
- 委員：「釧路市立大楽毛学園」に対して何か反対の意見、またはその他の意見があればご発言願いたい。
- 委員：公募件数、委員投票数ともに多かったという内容を尊重して校名を決定するのであれば納得できる理由だと思う。また、今後も釧路市内で義務教育学校を新設していく中で、校名に「〇〇義務教育学校」とともに「〇〇学園」の選択肢があることは凄く重要なことだと思う。
- 委員：その他、意見が無いようであれば、校名を平仮名の「おたのしけ」も含めると委員投票及び、一般からの応募が1番多かった「釧路市立大楽毛(おたのしけ)学園」とし、更に「大楽毛」の表記は、応募件数、委員投票数ともに多い漢字表記の「釧路市立大楽毛学園」に決定してよろしいか。(全会一致で合意) それでは、新しい校名を「釧路市立大楽毛学園」に決定する。

(2)校歌について

事務局：これまでの学校開校に係る校歌・校章の決定方法は、公募を行った後、協議会で選定したデザインの修正を専門家に依頼する方法、デザイン案そのものを専門家に依頼する方法、現行の学校のものを活用する方法の3つがあり、阿寒湖義務教育学校では、阿寒湖小学校の校歌・校章を引き継いで活用している。公募の場合、校名のとくと同様に公募期間や公募対象も踏まえてご協議いただきたい。また、デザイン案を依頼する場合、どのような方に依頼するのが良いのか、特定の方がいらっしゃるかも踏まえてご協議いただきたい。阿寒湖義務教育学校のように現在使用している校歌・校章を引き継いで活用する場合、大楽毛小学校の校歌は「大楽毛小学校」の校名が歌詞には入っていないが、大楽毛中学校の校歌は「大楽毛中学校」の校名が歌詞に入っている。大楽毛小学校の校章は「大楽毛」という文字のみが組み込まれているが、中学校の校章は「中」という文字が組み込まれている。そういった点も踏まえ、公募、デザイン案の依頼、現行の校章・校歌の活用など、選考方法及びその詳細についてもあわせてご協議願いたい。また、協議の前に、大楽毛小学校・大楽毛中学校の校歌のCDを再生するので、そちらをお聞きいただいた上でご審議いただきたい。

- 委員：過去の学校の開校では、1.公募、2.デザイン案から依頼、3.現行の学校のものを活用するという3つの方法から決めているとの事務局からの説明であったが、まずは決定方法について意見を伺いたい。
- 委員：私の親の世代では、大楽毛小学校を卒業した後、北中学校に進学し、私の世代では、大楽毛小学校を卒業した後、鳥取中学校に進学し、途中で大楽毛中学校が開校しているため、大楽毛中学校の歴史はそれほど長くないように思う。大楽毛中学校の校歌は「大楽毛中学校」の歌詞を変える必要があるので、大楽毛小学校の校歌を残してはどうか。私は大楽毛小学校の校歌は今でも歌えるほど好きな校歌であり、歌詞も義務教育学校の校歌として違和感が無い。
- 委員：私は、校歌を1つにしなければならないのかと疑問に感じている。平成20年に日進小学校、東栄小学校、柏木小学校の3校が統合し、釧路小学校が開校したときは、歴史のある3校が統合したので、校名を決めるところから大変であった。その時は学校の歴史として校歌を残してるが、年月が経ってしまうと見る機会も無くなってしまおうと思うので、大楽毛小学校、大楽毛中学校、両校のそれぞれ思い入れのある校歌を残した方が地域の方、卒業生の方にとっても良いと思う。
- 委員：私は、釧路市立緑陵中学校出身だが、廃校となり、校歌が無くなってしまったので凄く寂しい思いをした。大楽毛小学校の校歌は私も好きなので、残すという意見は賛成だが、大楽毛中学校の校歌も大事なので「大楽毛中学校」の歌詞を変更して両校の校歌を残した方が良いのではないかと思う。
- 委員：「大楽毛中学校」の歌詞を「大楽毛学園」に変えて、前期課程は大楽毛小学校の校歌を歌い、後期課程は大楽毛中学校の校歌を歌ってはどうか。
- 委員：大楽毛小学校、大楽毛中学校、両校の校歌を残した場合、入学式や卒業式、行事のときなどは毎回2つの校歌を歌うことになるのか。それともメインの校歌を決めてそちらを主に歌っていくことになるのか。もし、校歌を2つ残すのであれば、様々な状況にあわせて考えなければいけない。また、同じ学校に校歌が2つあることにより、子どもたちが混乱してしまうのではないか。
- 委員：1つの校歌を主に歌い、もう1つの校歌は音楽の授業のときや合奏のときなどに歌ってはどうか。
- 委員：入学式・卒業式、始業式・終業式では1年生から9年生までが校歌を歌うので、前期課程と後期課程に分けて歌うのであれば、校歌斉唱の時間が長くなる。また、もし全学年が校歌を2つ歌うのであれば、2つの校歌を覚えなければいけなくなるので、子どもたちは大変になる。

- 委員：毎回2つの校歌を歌うことは、学校現場としては難しいか。
- 委員：毎回、前期課程と後期課程に分けて校歌を2つ歌う時間を確保することは難しいのではないかと思います。
- 委員：本日の協議会で校歌について結論まで決定しなければいけないのか。
- 委員：校歌について結論まで決定しなくても良いが、公募を行うか、専門家に依頼するか、現行の学校のものを活用するかを決定方法も含めて決めなければいけない。
- 委員：校歌を依頼できる釧路出身のミュージシャンの方は存じ上げない。
- 委員：公募を行うのであれば決定まで時間がかかってしまい、更に折角応募いただいても聞いた後に、結局現行の学校の校歌を活用することになれば無駄になってしまう。公募を行うのであれば慎重に考えて決めなければいけない。
- 事務局：公募の場合、募集した後に校歌の制作を専門家に依頼するため、予算要求を行う必要がある。そのため、公募期間は11月中で考えている。
- 委員：今ある校歌を活用できるのであれば、公募や専門家への依頼ではなく、現行の校歌を引き継いだ方が良い。
- 委員：校歌は現行の校歌を引き継ぐかたちでよろしいか。
- 各委員：良い。
- 委員：それでは、大楽毛小学校、大楽毛中学校、両校の校歌を残し「大楽毛中学校」の歌詞を変更するか、それとも校歌を1つにするかどちらが良いか。
- 委員：実際の学校現場では毎回校歌を2つ歌うのが難しいのであれば、校歌を1つにした方が良い。もし校歌を1つにするなら1年生から歌うことを考えて、歌詞がわかりやすい大楽毛小学校の校歌の方が良い。
- 委員：9年間同じ校歌を歌い続けた方が子どもたちはずっと覚えていると思うので、校歌を1つとして歌詞をそのまま活用できる大楽毛小学校の校歌を引き継いでどうか。大楽毛小学校の校歌を引き継いで残し、大楽毛中学校の校歌は歴史として残した方が子どもたちも混乱しない。
- 委員：校歌を1つとして大楽毛小学校の校歌を引き継ぐことに対して何か反対の意見、またはその他の意見があればご発言願いたい。
- 委員：大楽毛地区義務教育学校の開校年度である令和8年度の8・9年生は大楽毛中学校の校歌を知っていることとなるが、小学1年生のときから歌っていて慣れ親しんでいることを考えると校歌は1つとして大楽毛小学校の校歌を引き継ぐことで良いと思う。
- 委員：これまでの議論を踏まえて、校歌は大楽毛小学校の校歌を引き継ぐことで各委員よろしいか。(全会一致で合意)
それでは、校歌は現行の大楽毛小学校の校歌を引き継ぐことで決定する。

(3)校章について

- 委員：大楽毛小学校の校章はスズランのデザインと「大楽毛」の文字のアレンジが良く出来ている。大楽毛小学校の校章はデザインがシンプルなので、大楽毛中学校の校章のペガソス(天馬)の羽を足して大楽毛小学校、大楽中学校、両方の校章のデザインを引き継いではどうか。
- 委員：大楽毛中学校の校章のペガソス(天馬)の羽は「ペガソスの如く天を翔よう」という校訓によりデザインされているので、義務教育学校の校章にペガソス(天馬)の羽を足しても本来の意味とは変わってしまう。
- 委員：義務教育学校の校訓を決めてから校章のデザインを決めるのであれば、まだ先の話となるが、校章の決定に期限はあるか。
- 事務局：校章を一からデザインして制定する場合、専門家や業者などに依頼することを考えて予算要求を行うので、ある程度早い段階で校章を一からデザインして制定するか、それとも現行の校章を活用するか決めていただきたい。
- 委員：校訓の他、学校の教育目標やめざす子どもの姿などが見えてきた段階で校章に反映させる方法も考えられるが、そちらについてはいかがか。
- 事務局：そういった場合、どのようなスケジュールとなるのか。
- 委員：義務教育学校の校訓が全く違うものになるのであれば、大楽毛中学校の校章のデザインであるペガソス(天馬)の羽を足しても意味が無くなってしまうので、校訓がどのようなものになるのか知りたい。
- 委員：現在、学校内やコミスクでは義務教育学校におけるめざす子どもの姿について話をしており、その際、校訓を開校から掲げても、子どもの課題にそぐわない、飾りだけになってしまうぐらいなら必要ないという話を先生方にしている。そのため、今後校訓がどのようなものになるかは今後のこととなるが、もしかすると義務教育学校では校訓を決めて校内に掲げることは無くなるかもしれない。
- 委員：義務教育学校の校訓が決まっていない中、単純に大楽毛中学校の校章のデザインを残すために大楽毛小学校の校章にペガソス(天馬)の羽を足せば良いというものでは無い。
- 委員：平成20年に日進小学校、東栄小学校、柏木小学校の3校が統合し、釧路小学校が開校したときは、トラブルを避ける意味でそれぞれの校章のデザインをとって1つの校章にした経緯がある。

事務局：義務教育学校の校訓などを校章に反映させるか、それとも大楽毛地区の地域性を校章に反映させるかという議論もある。大楽毛中学校の校章のペガソス(天馬)の羽は「ペガソスの如く天を翔よう」という大楽毛中学校の校訓を反映させているものだが、大楽毛小学校の校章の三本のペン、スズランは文化や歴史、地域性などを反映させている。校訓などを反映させるか、地域性などを反映させるか、どちらを優先させるべきかという点についてもご議論いただきたい。

委員：大楽毛中学校の校章のペガソス(天馬)の羽を残すか、それとも中央の円のデザインを残すかどちらが良いか。また、大楽毛小学校の校章のスズランを外してペガソス(天馬)の羽を足すとどのようなデザインになるか。

委員：大楽毛小学校の校章の三本のペンとスズランは残すべきだと思う。大楽毛小学校の校章にペガソス(天馬)の羽を足したデザインで良いのではいか。

委員：大楽毛中学校の校章の中央の円の部分を大楽毛小学校の校章に差し替えて、大楽毛小学校の校章にペガソス(天馬)の羽があるデザインが1番良い。

委員：今のサイズのまま校章を組み合わせてもバランスが悪くなると思うので、大楽毛小学校の校章を少し小さめにしてペガソス(天馬)の羽を足した校章案を1度美術の先生に作成していただいてはどうか。

委員：それでは、大楽毛小学校の校章に大楽毛中学校の校章のペガソス(天馬)の羽を組み合わせたデザインをどなたかに依頼し、その校章を1つの案として再度検討することよろしいか。

各委員：良い。

委員：デザインを依頼できる方をどなたかご存じか。

事務局：デザインの依頼については事務局で行う。

委員：デザインを依頼していただかなくても、紙に印刷をして切り貼りしたものでも良い。

事務局：校章のデザインを事務局で作成し、出来上がった校章案を見ていただいた上で、再度検討していただくことよろしいか。

各委員：良い。

委員：それでは、校章については大楽毛小学校と大楽毛中学校の要素を生かしたデザインを事務局が作成し、それを1つの校章案として再度検討することとする。

■担当課係

学校教育部教育支援課教育政策担当